

# 筥崎宮

所在地/福岡市  
指定/有形文化財



筥崎宮の門

博多湾は玄界灘へとつながる自然にでき

た大きな入り江です。海を行き来する船  
が、強風や荒波などを避けるにはとても良  
い立地をしているため、古くから博多沿岸  
を中心の大陸との行き来が盛んな場所とし  
て発展してきました。そのためか神話に登  
場したり、奈良・平安時代に大陸から来た  
人々をもてなす大きな施設がつくられた  
り、日本と中国を行き來した船が立ち寄っ  
たりした歴史をもっています。

博多湾に面する箱崎にも古くからの港があり、集落ができていたそうです。現在の場所に筥崎宮ができたのは、約 1100 年前の平安時代の中頃にさかのぼります。筥崎宮は八幡宮とも呼ばれた神社であり、約 1600 年前、福岡で生まれたとされる応神天皇をまつっています。鎌倉時代、大陸からやって来た当時の中国の水軍が博多湾に入ると、一帯は戦場になつて筥崎宮も焼けてしまいます。神社が博多湾に近く、国を守る重要な位置にあることから、亀山上皇は自ら筆をとり、再び戦争にならないように祈りを込めて、「敵國降伏」の書を筥崎宮に納めました。その後、神社は建替えられ、今の本殿は戦国大名の大内義隆によって 1546 年に建て直され、さらに二階建ての門は小早川隆景によって建て直されました。江戸時代の中頃、境内の西側正面に唐津街道という道路が通ると、門の前にある集落は宿場町の役割を担うようになり、博多への入口として町はにぎわいました。

筥崎宮では一年を通していろいろなお祭りが行われます。春秋には海辺の砂を竹かごにつめて身を清めるお潮井とり、秋には実りと生き物への感謝の気持ちを込めて開かれる放生会、正月 3 日には、締め込み姿の男たちが争奪戦をする玉せせりなど、地域とともに伝統行事が伝わります。

## 【もっとくわしく調べたい】

○筥崎宮 福岡県福岡市東区箱崎 1 丁目 22-1 Tel 092-641-7431

## 【行ってみたい】

○箱崎宮前駅から徒歩約 5 分